

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミクロネシア連邦共和国
2. 案件名	サステイナブル・タミルの実現に向けた住民参加型エコツーリズム・プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ヤップ島は近年まで自給自足経済に基づいた伝統的な暮らしを保持してきた面積約 100 km²の小さな島である。近年、州都コロニアに留まっていた経済開発が島のあちこちにまで急速に広がり、社会が変わりつつある。現代的生活に起因する環境問題も生じつつある。住民の間で継承されてきた自然と共存する暮らしの知恵¹も現代の若者に十分に引き継がれているとは言い難い。住民は、環境と調和した生活と社会経済の発展を目指し Tamil Resources Conservation Trust (TRCT) を設立し、地区全体で海陸の環境保全に取り組み、自然と共存した伝統的な生活の良さを維持しつつ、地区内に雇用を創出し経済的にも自立した生活を目指す取り組みを行ってきた。一方で、活動に必要な情報、人材、技術、機材、資金等が不足していることから、こうした取り組みの成果は十分ではない。</p> <p>これらの課題解決のために、本事業では、TRCT と連携し、エコツーリズムの実施体制の整理、住民参加型のワークショップの実施、代表メンバー対象の研修、ウェブサイトでの情報発信等を通じ、エコツーリズム計画を策定する。これらの活動を通じ、住民が主体的にエコツーリズムに参加し、環境と調和した持続可能な生活と経済発展を目指す。</p>
4. プロジェクト目標	ヤップ島タミル地区において、ソフト面及びハード面を包含したエコツーリズム計画が立案される。
5. 対象地域	ヤップ島タミル地区
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	ヤップ島タミル地区 (11 村) の住民
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エコツーリズム計画案が策定される。 2. エコツーリズム計画が最終化される。 3. エコツーリズム計画を実施する準備が整う。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヤップの観光政策や観光資源のレビューを通じてエコツーリズム計画案を作成し、住民参加型ワークショップを実施する。 2. 本邦研修やモデル事業を実施し、その知見をエコツーリズム計画に反映する。 3. エコツーリズム計画の HP を作成し、政府の協力を得られるよう働きかける。
8. 実施期間	2023/6/1～2025/5/31 (2 年間)
9. 事業費概算額	10,101,400 円
10. 現地カウンターパート	<ul style="list-style-type: none"> ・ Tamil Resources Conservation Trust (TRCT) ・ ヤップ州環境保健局 (EPA)
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ECOPLUS
2. 活動内容	<p>自然環境で自己を試し、生命のつながりを感じることを目的とした活動を行っている。1992 年より日本の若者がヤップの村々で暮らすことを通じて環境について学ぶプログラムを毎年実施している (累計参加者約 360 名)。ヤップの中高校生を日本に招聘し、東京湾岸ゴミ埋立地を見学するなど、双方向の学びを実践している。また、新潟県南魚沼地域で地元の人々と都会の若者がともに活動を行うプログラムも行っている。</p>

¹ 食材を保管する方法、伝統的な漁法、ヤシの葉から様々な暮らしの道具を作る方法など。